

續東鑑
四

~ 13
3985
5



3882
2

十五

市川兼次郎
三丁目

繪本金花談卷之四

目錄

梶原貞清言託好意幽友衡事

岩城兵庫竊小送多瓜若事

緒士舞合不弛引る園

友衡隱居秋ひの事

在園の法士表裏の門と守護とる園

其二

繪本金花談卷之四

昭和41年12月20日寄
原安三郎氏贈

41-9684

門へ13
號3985
卷5

友衡隱居の圖

其二

友衡隱居番代中波の事

右評定船田が義言法士の身目ハ

番代評儀市川後河義言の事

友千代家勢相統の事

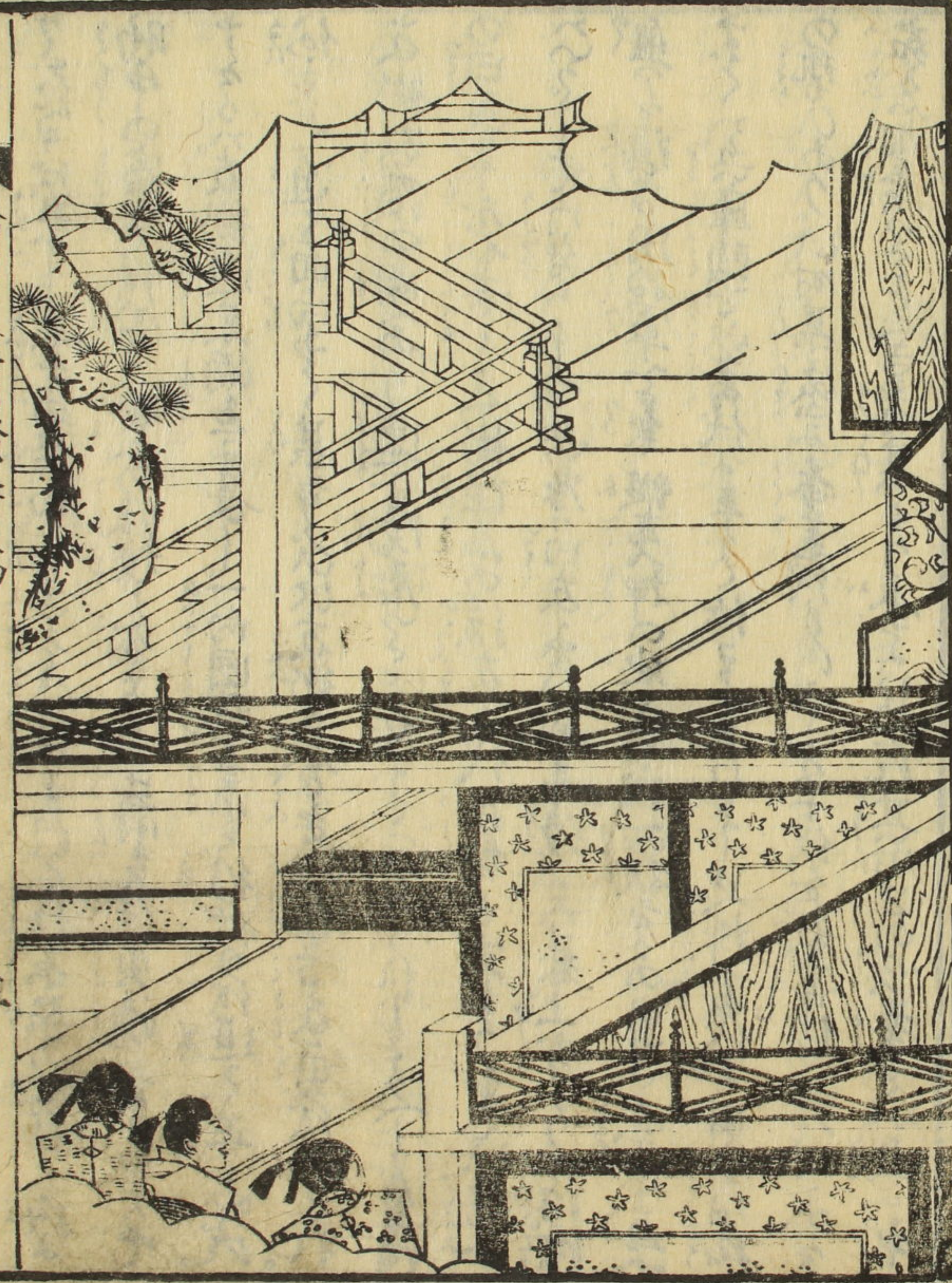
繪本金花談巻四

源貞清言託好息幽友衡事

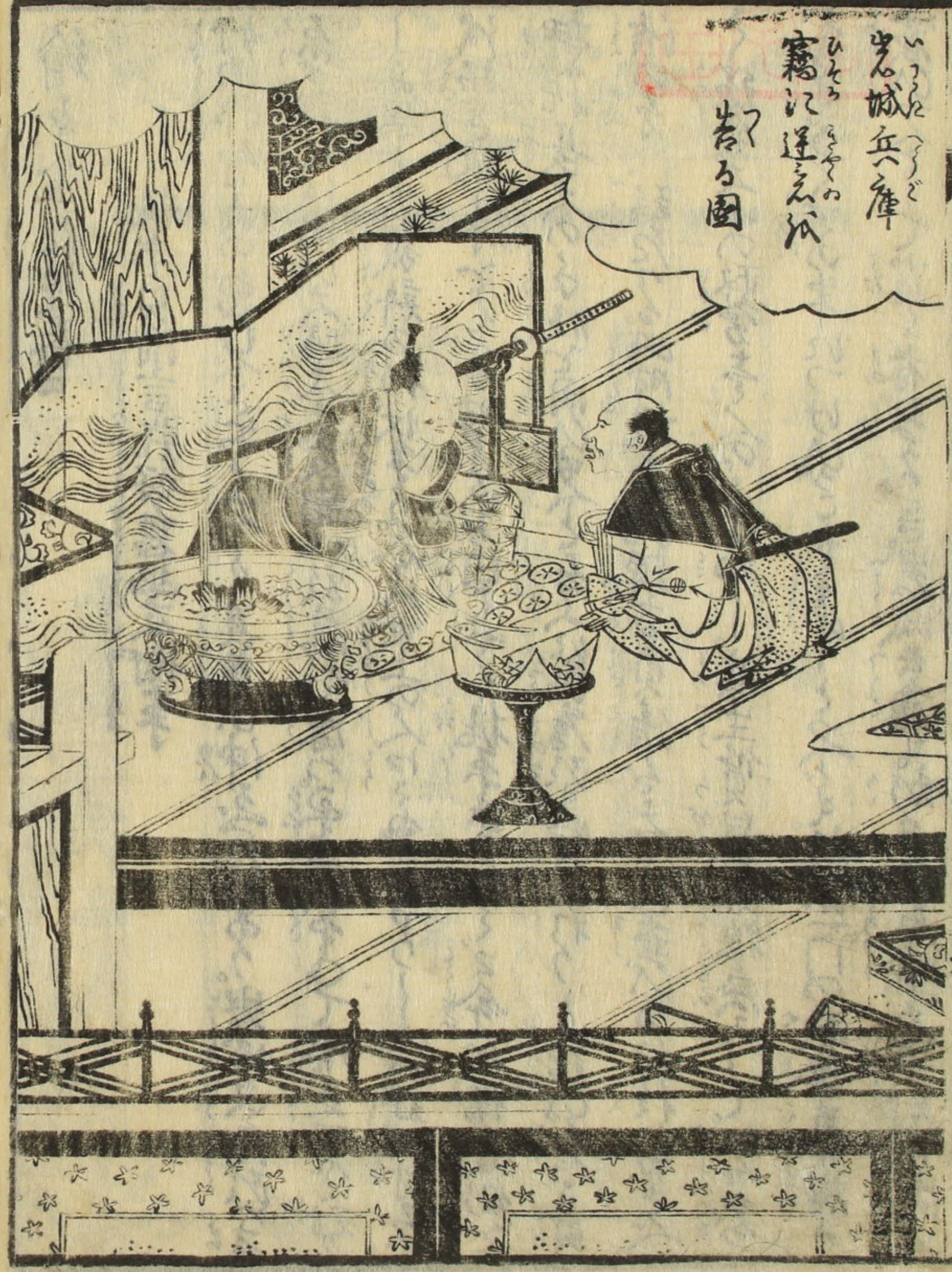
奸曲邪智天の忽むこやとぞも其勢の伸たれた時あり。岩城兵庫の才
系が謀計は因ハ之膳太夫友衡に教書を傳り、其書は、
一、果して幾許の行状あり。今ハ世上の人口をめぐり、
一、其招き密東とてくる時才るが曰く、
一、押籠長久の子殿と因ハ申とて、
一、清の身に懸たつる。此時梶原亮彈正貞清とて下ハ並びたるは、
一、後念入小の政勢を、
一、震ハて、
一、

圖書印

圖書印

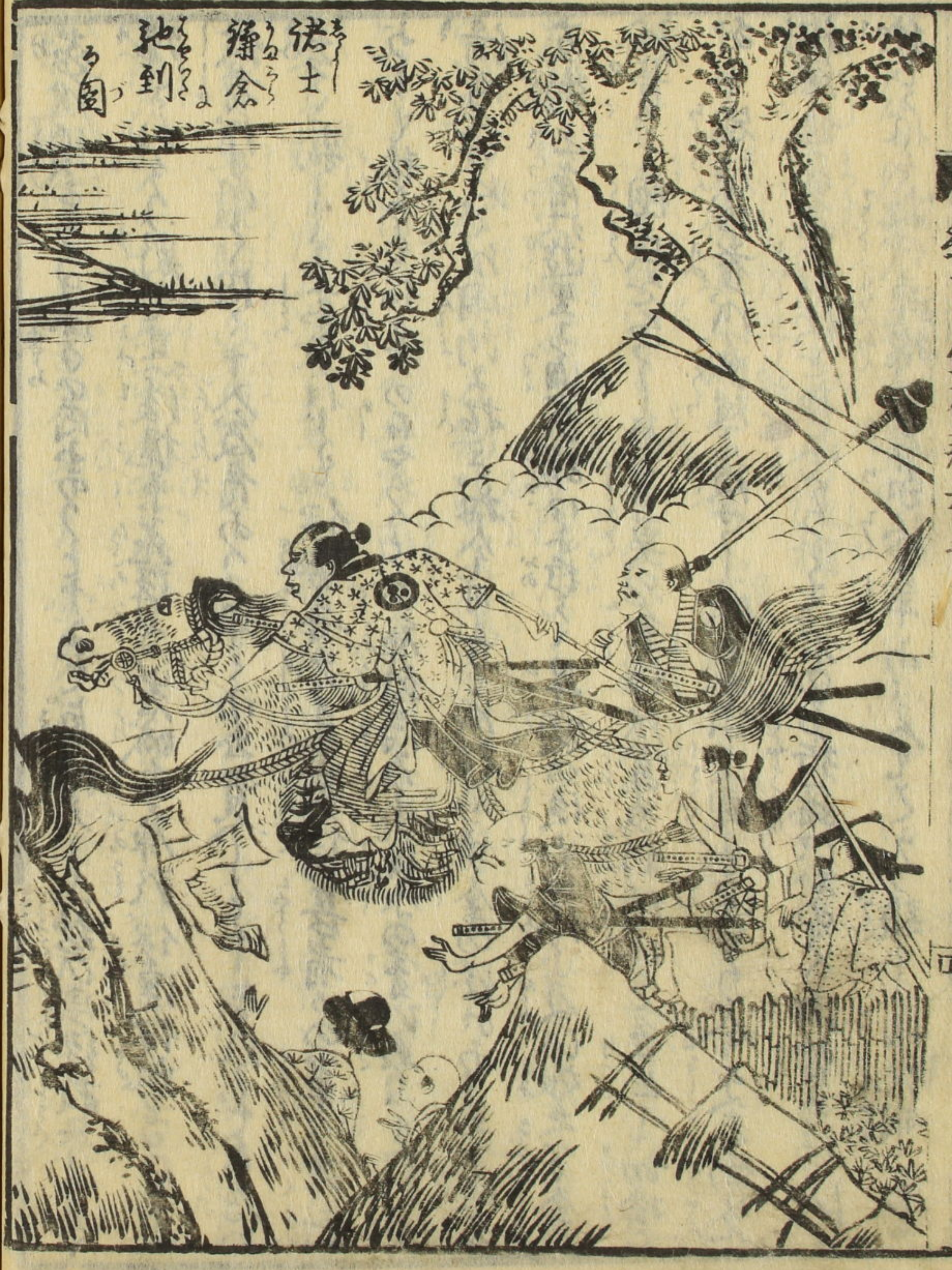


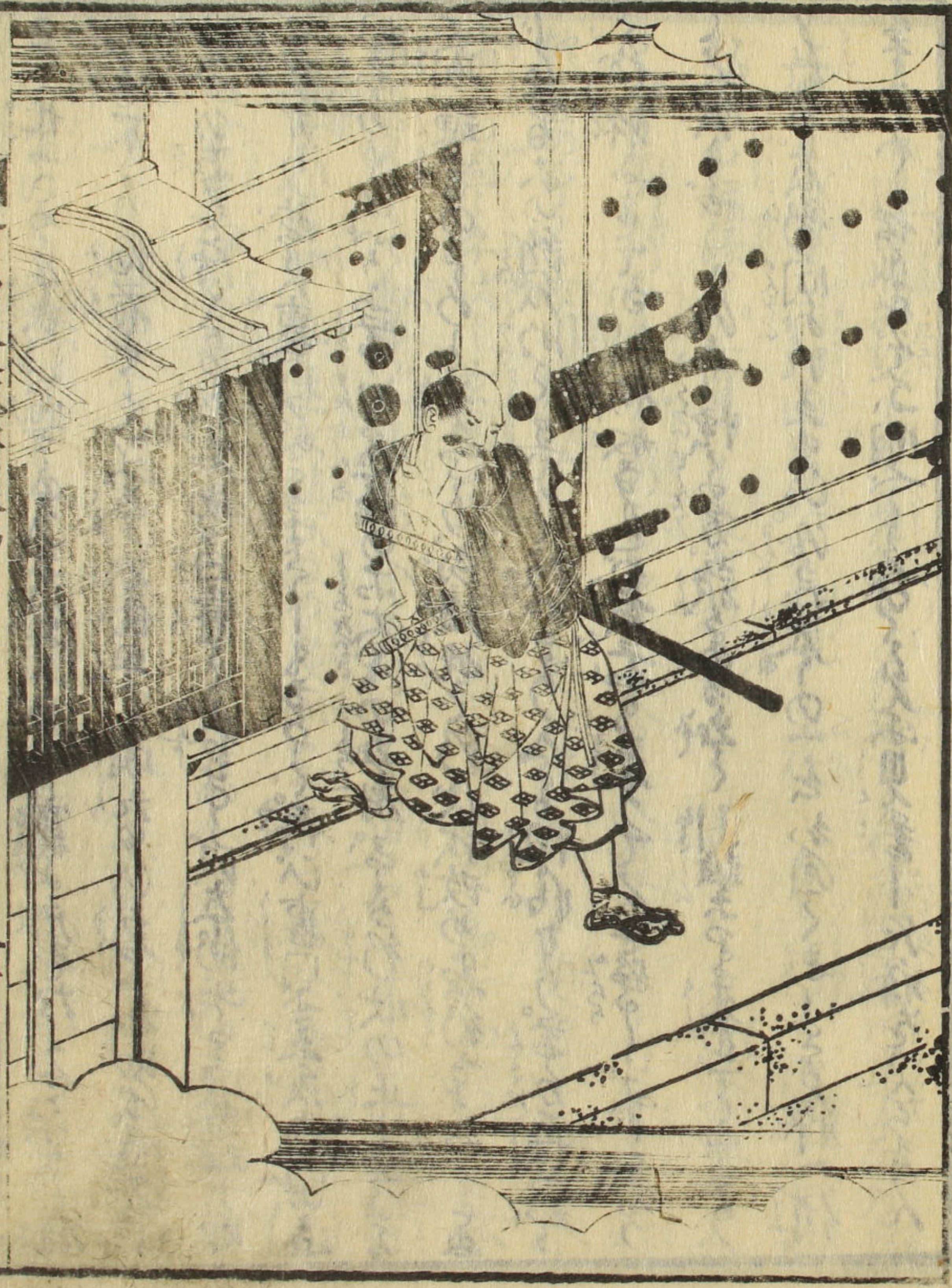
いづれ
 岩城兵庫
 ひそか
 竊に運ぶ
 吉乃園



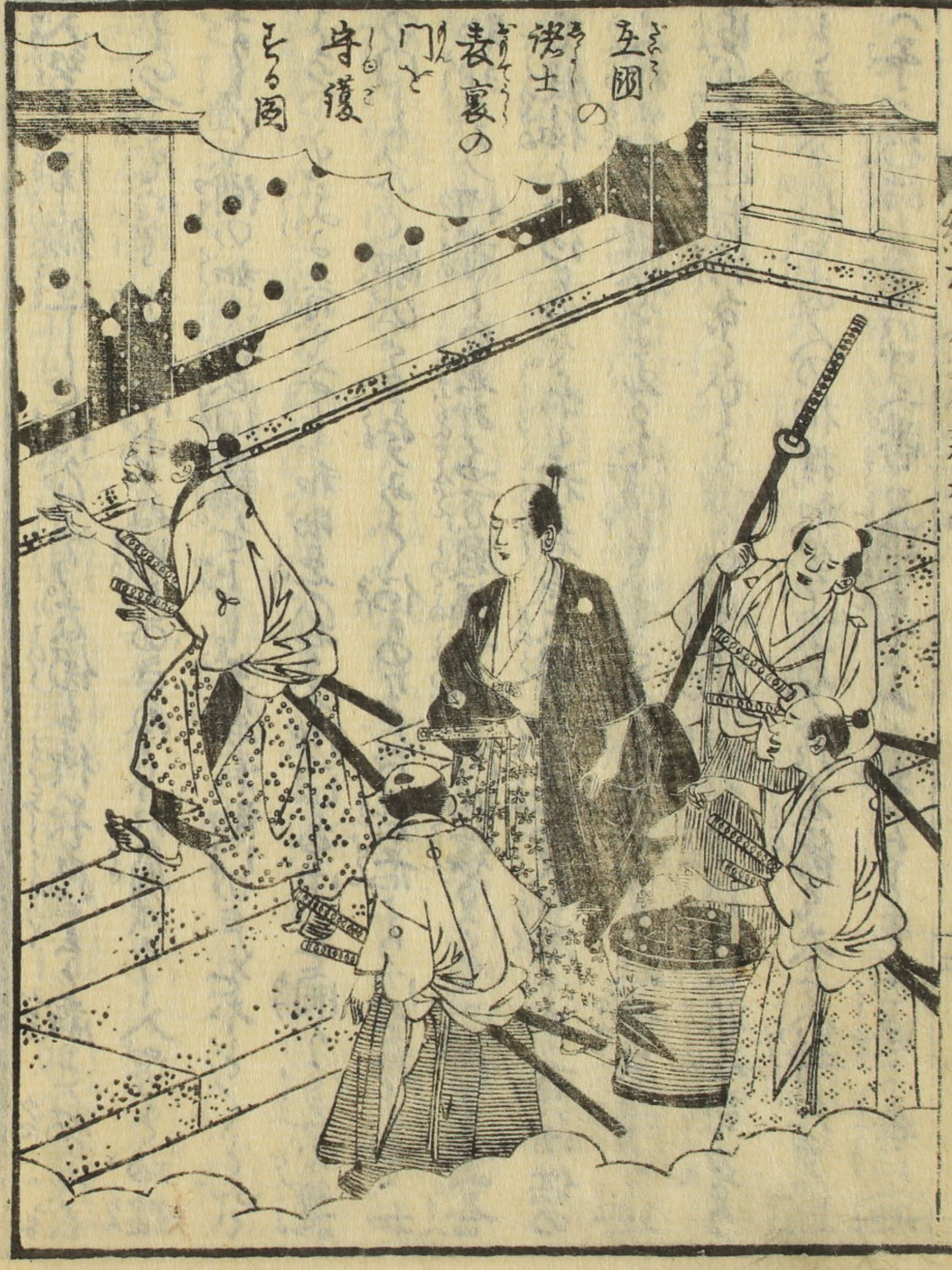


法士 孫念 地到 自





五國の
 浪士の
 表裏の
 門と
 守護
 とらぬ



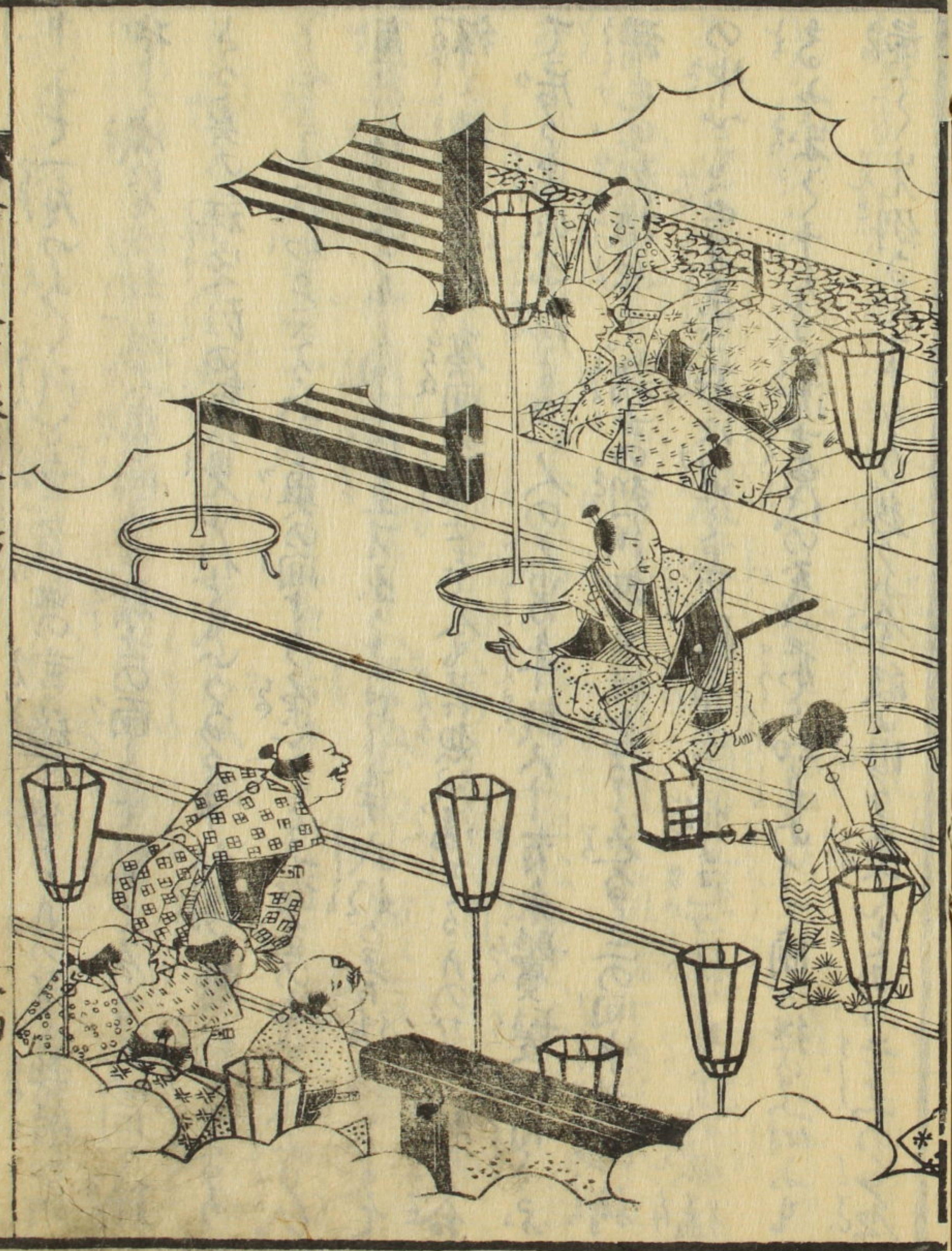


下へ下るも遊里の通ひ止むるものもなれば跡の事をも同じ長也ア一
 たり。上聞と違ひ既小申すも有る不梶原亮祥等當時者也
 孫家よりあり。名家の振懐然氣の毒に思ふも先以内言伝はく連隠
 居と違めよ。たつたは於くは後難いものんえら難いと。好意伝の
 申すより。今後國を中き一皆より。本國の古たよ上せとぞ。隠
 居の怨ひと名を以移りたり。以上を連隠居有く宣ひのすしと。其
 小付く行島双十所以下悉く言伝振如是なりし上りも。御諫言
 申上いともなる事。事よ少。沖隠居の義済納得のたまふ中。一統は怨
 むと謹て述るる事。友衛一言の事。身の過は悔むは後
 しての事。ひさる。放為先非は悔むも。ひさる。連隠居と。世の五千代
 幼年の事。なり。なり。き。庫君伊勢守宣しく。入其。其。年。年。友

友代を殺せり。ゆゑ。願ひす。一。言も。な。り。る。一。度。も。な。る。ら
 り。ひ。さ。る。諸。士。一。人。と。て。此。有。状。伝。見。て。涙。を。流。す。者。も。な。り。あ。は。れ。し。隠
 居の願文をぞ。認めたり。

友衛隠居番代申渡の事

日十月朔日友衛の家士廿余人。能書伝。掛。梶原亮。輝。守の。弟。は。出
 謹て。願ひ。な。り。大。胆。を。支。友。衛。平。日。多。病。に。は。如。近。來。亦。病。と。な。り。り
 友衛。に。願。ひ。な。り。り。付。子。友。代。と。系。系。相。傳。り。隠。居。仕。り。り。は
 寫言。上。宣。傳。知。ひ。り。り。と。存。す。執。達。伝。後。の。賄。賄。の。黃。白。野。々。と。は
 多。家。其。後。日。月。廿。三。日。貞。治。の。弟。友。衛。吉。老。の。人。々。も。ひ。み。強。愈。生。初。の
 老。信。才。亦。勘。解。由。と。一。緒。存。す。今。後。友。衛。病。氣。付。隠。居。相。傳。り
 友。代。一。人。と。り。友。代。の。身。才。の。よ。う。奥。忍。々。振。夷。の。地。通。り。大。切

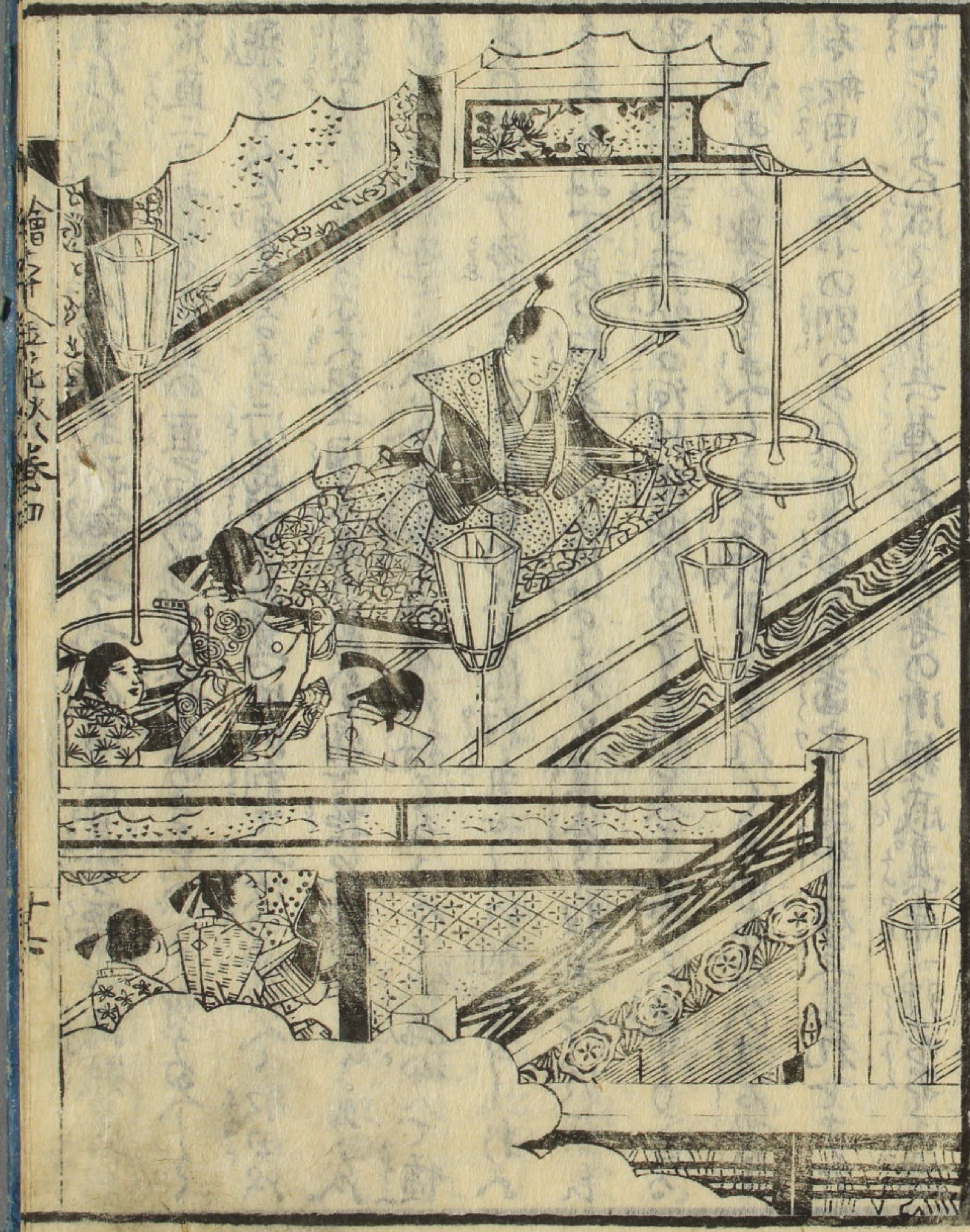


友衛と
徳右の図

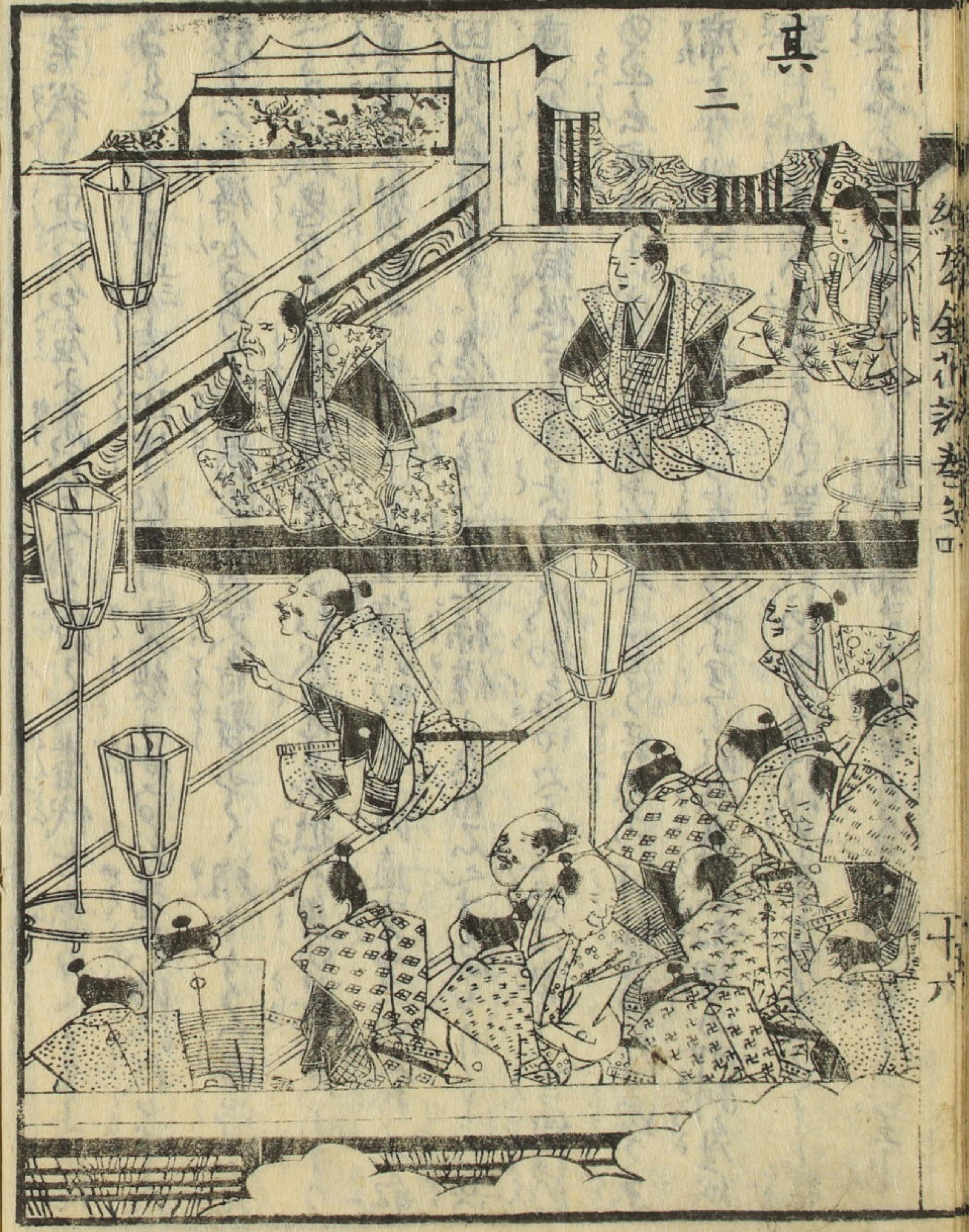


中まで一舟つゝく既と云ふ世の言結も奈とりのなく暫耐を以
て成にたり。却説大廣向ふも。緒士の面々星如く居るべし。向と隔
るる奥の評定。既の物見申いども。いづる事。秋岡人。任はけし。定まり
しや。さうに知をさる知も。奥の間より。柔とて。大坊主の申する。依をいひ
奥の評定。いづち。同。坊主。才。承。つ。せ。り。事。或。如。く。又。活。よ。う。ら。ま。で
解。よ。活。り。う。れ。ば。廣。向。の。諸。士。も。人。も。皆。懸。孤。備。さ。る。り。の。か。く。秋。見。合
て。居。り。廣。に。奈。奈。より。一。人。の。大。男。年。數。八。十。有。余。鬢。髮。斑。白。く。ふ
禮。毛。の。既。振。也。諸。士。の。列。氏。押。ま。け。た。る。く。色。る。く。二。の。同。中。老。藤。崎
の中。でも。也。才。承。つ。お。に。進。む。事。助。を。海。中。情。よ。こ。じ。が。孫。と。實。う。け。威。猛
も。お。承。つ。く。中。々。の。ハ。沖。事。代。の。美。ハ。承。つ。知。ま。あ。ん。て。國。を。從。つ。耐。お。も
當。り。先。例。さ。た。事。なり。あ。る。今。般。は。限。り。ま。ん。と。あ。る。事。お。の。を。應

ま。り。の。川。に。不。事。さ。る。懸。様。御。行。海。平。し。の。ハ。幕。下。より。涉。普。を。も。の。り
し。る。お。柄。さ。れ。ば。星。辰。遠。者。と。る。お。説。つ。ハ。沖。家。を。居。よ。と。ふ。通。う。ら。ん。と。り
さ。う。い。は。何。さ。る。通。行。も。ま。屋。堂。と。う。大。國。の。え。老。と。し。て。君。の。側。に。有
ま。り。君。家。の。危。さ。た。事。と。も。識。び。身。辰。控。く。直。諫。を。も。な。ま。り。國
を。と。り。て。年。月。辰。送。り。今。に。む。く。始。て。危。た。辰。あ。ら。ん。不。智。と。り。者
なり。直。柄。勘。平。さ。た。者。を。小。使。う。り。と。も。自。己。の。一。命。と。扱。く
所。諫。言。辰。中。涉。事。討。辰。あ。ら。う。ハ。ま。屋。お。わ。れ。だ。敏。に。有。く。眼。中。を。遮
ら。ず。秋。涉。敏。の。遊。向。通。り。せ。る。事。君。の。し。思。し。や。悪。れ。涉。不。行
と。存。せ。ら。れ。ら。る。や。懸。さ。り。知。り。ま。り。わ。ん。銀。と。鳴。呼。斯。て。は。終。り。事。家
の。孫。事。と。成。り。ん。危。い。う。れ。く。し。を。に。識。く。傳。を。う。づ。る。ハ。孫。賊。の。不。忠
者。と。り。之。し。知。り。ば。し。て。諫。ご。ん。危。信。辰。顧。と。る。懸。人。と。懸。人。と。り。ハ。何



繪本
金瓶梅
卷之四



其

二

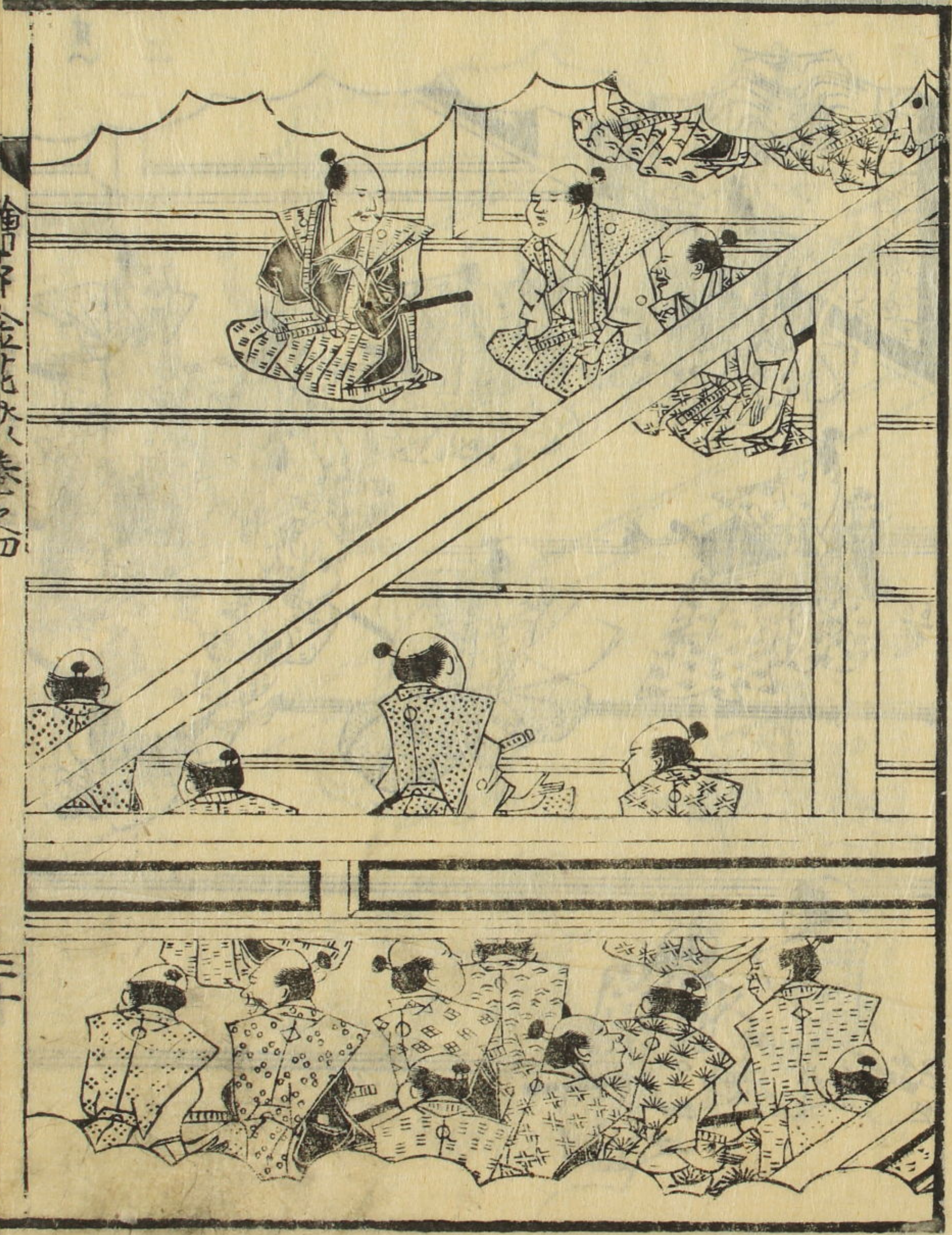
繪本
金瓶梅
卷之四

十六

と見え合一程をけりたる。行爲双十鳥中々る。最之は某う十と
事へう。由國有る。おれに今日。権系氏の。才も。上意と。ゆる。内え
瓜即答も。及む。び。火。煙の。括合。ま。ま。さ。る。諸士。も。無評の上
遊く。ゆ。と。す。中。な。り。と。中。し。の。既に。稱。過。の。義。が。然。り。ま。う。は
今日。の。評。義。も。受。る。う。受。ぬ。る。う。實。々。と。し。る。評。義。に。お。び
中。所。多。ぬ。し。受。者。一。上。上。兵。陣。定。ま。り。ま。事。小。降。ん。ぐ。周。平
つ。ま。ま。だ。れ。も。假。と。二。変。し。其。後。権。系。氏。返。言。ま。な。る。ま。さ。お。り
再。ひ。権。系。氏。へ。返。言。は。ん。ふ。先。親。の。括。式。も。ひ。た。し。事。代。も。然。ひ。ま
ら。ば。と。云。と。死。を。鈎。命。に。有。し。中。と。の。の。物。命。に。遠。有。ま
歳。を。の。心。然。め。代。業。り。國。城。を。と。ら。う。と。計。す。こ。の。北。玉。智。等。の。所
は。小。降。ん。る。時。者。連。は。敵。命。に。果。快。し。國。城。を。渡。さ。る。や。石。也。此。事

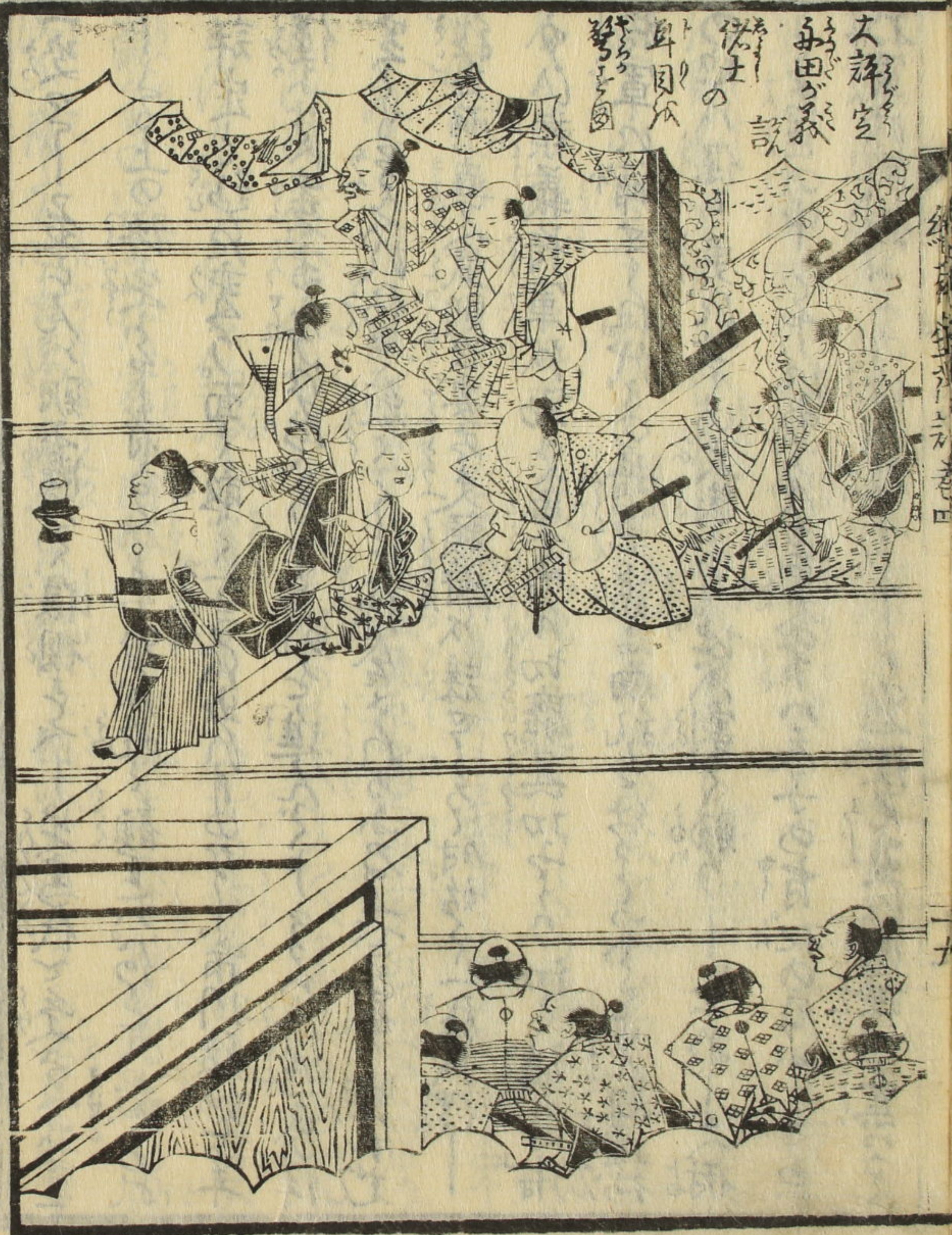
一変し。一。五。と。ん。ん。朝。小。降。ん。ぐ。狼。狽。と。一。是。ま。代。と。受。さ。る。ふ。事。を
一。上。の。評。定。と。中。者。さ。り。と。一。程。瓜。吃。と。願。は。ば。何。と。も。最。之。の。れ
評。定。と。起。た。ま。り。面。を。敢。く。一。言。瓜。吃。の。り。の。なり。市。川。孫。兵。衛。と。年
僅。ふ。せ。の。某。事。原。に。居。り。一。列。を。進。ん。ぐ。ゆ。と。り。行。爲。氏。の。評
定。も。さ。る。之。に。何。ぞ。競。こ。う。て。作。合。さ。る。ふ。る。ま。さ。某。國。へ。計。え
進。出。羽。真。人。武。則。と。安。右。衛。門。頼。時。は。誅。せ。ら。る。時。始。く。一。族。瓜。吃。し
ゆ。ひ。頼。義。將。軍。に。助。く。東。夷。瓜。切。靡。其。功。ゆ。り。初。め。鎮。守。府
將。軍。に。補。せ。れ。代。の。將。軍。家。は。向。れ。を。侍。と。し。て。も。先。に。連。綿
の。地。瓜。保。ち。更。に。世。の。大。樹。より。地。瓜。割。り。賜。り。し。ま。ぬ。し。大。樹
と。君。臣。の中。と。中。に。あ。ら。ば。善。美。の。下。の。天。子。の。育。化。の。る。ふ。と。と。と
お。軍。此。制。假。ふ。の。任。瓜。割。り。中。の。之。理。を。更。に。國。城。瓜。吃。す。と

繪師 松平 大膳 巻之四



大膳空
船田が義
徳士の
身目
野目
野目

繪師 松平 大膳 巻之四





ともよみ本にて將軍家の下にお随ふさま。その最なるの御ふあ
しるしに。謹く奉伏し。曲政具負の御座よる。國城とあり
先石の背へん限つて防戡はり。事おまはるに。信を速に城頭
よ火矢を射ら。城と共に焚死侍らん。ふゆ。未固き事の由。一戦
し。ふ一交は。バ。前く。警る。つ。た。後。の。家。を。ひ。ま。す。と。奉。答。と。て
す。る。是。バ。一。府。の。人。々。忽。り。市。川。が。言。の。傳。く。る。ふ。精。心。と。ま。ら。ふ。
言。う。昭。各。帶。刀。太。さ。不。感。ず。仕。さ。る。る。ね。る。川。の。我。言。實。に。由。記
と。執。つ。ど。一。此。上。と。諸。士。一。統。血。判。五。圓。也。高。代。代。を。さ。ら。ふ。ふ。一。次。一
家。の。血。廢。と。朝。の。星。能。不。任。と。と。こ。れ。より。降。義。年。以。く。と
か。ゆ。り。や。う。く。國。士。之。身。より。小。男。の。子。士。に。つ。る。中。と。く。禦。と。く
血。判。と。と。り。み。る。心。其。後。常。刀。列。射。不。向。此。上。幼。主。國。勢。と。終。せ

らる。時。と。一。族。の。所。方。より。十。又。家。に。及。ぶ。勢。から。す。ま。く。後。見。の。さ
ら。う。が。是。ま。で。の。先。例。が。り。幸。ひ。兵庫。君。勢。州。君。所。家。門。の。貴。戚
ふ。わ。り。つ。ち。の。い。は。若。者。が。あ。つ。つ。後。見。か。さ。し。下。さ。る。や。う。が。ひ
ま。あ。つ。つ。ふ。と。云。摩。志。中。高。代。と。さ。り。得。さ。る。の。い。は。御。念。せ
い。思。い。も。も。さ。う。と。笑。ひ。い。は。御。と。は。ま。に。後。見。お。ひ。た。の。事。と。さ。る。
香。く。得。を。さ。く。高。代。と。う。け。つ。あ。つ。も。其。に。於。て。高。代。辞。退
つ。と。さ。ん。と。な。せ。し。知。之。後。見。の。家。の。い。は。り。と。あ。る。と。一。片。片。時。双
十。又。右。子。孫。の。出。し。取。書。と。さ。る。め。お。ま。り。自。信。の。事。と。さ。る。

友千代家勢相統の事

斯く其日退後の後才亦勘解由の岩城を庫が方に執た頭合
雨後一々。既よ船田が妨ふし。詔人忽ら一發を食ひ。此の

